

文化学会会長挨拶

丹羽 章

新型コロナウイルス感染症の突然の拡大は、大学教育にも甚大な影響を与えました。とりわけ大都市圏のマンモス大学とは異なり、少人数教育、いわば「三蜜教育」に自らの存在意義を見出してきた地方の小規模私立大学である本学は、己の信ずる教育を、この状況下でどのように維持していくかという問題に直面しました。以来、大学も、教員も、短期間のうちに最善の道を見出そうと模索を続けてきたと思いますし、その中で、教育機関としての大学、教員、そして学生達が抱える課題も明らかになってきました。

本特集は、2020年度前期における、本学教員の試みと、得られた知見の記録です。大人数の講義、情報系講義、初年次教育、演劇・パフォーマンス系講義、体育・実技系講義など、各分野からのご寄稿を得ることができました。また、きわめて困難な問題に直面していると思われる学内カウンセリング、ソーシャルワークの問題についても、貴重なご寄稿を得ることができました。

これらの試みや知見を共有することが、今後の方向性を見出していくための貴重な糧になることを期待しています。

皆様のご意見、ご感想などをお寄せいただければ幸いです。